## スケート場の夏季営業

4月7日から、岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場の夏季営業が始まりました。

オープン初日には、岐阜県インラインスケート協会による初心者向け教室や、愛知県、埼玉県などから集まったインラインスケート愛好家による実演や『スラローム体験教室』などが行われ、初心者から上級者まで多くの来場者でにぎわいました。

夏季営業は、10月14日までで、インラインスケートとフットサルを楽しむことができます。



『スラローム体験教室』に参加する子どもたち

## 自慢の愛車で大正村を走る

4月8日、明智町の日本大正村で「クラシックカーで大正村を走ろう」が開催され、県内外から製造後20年以上経過したクラシックカー65台が集まり、パレードを行いました。これは、「クラシックカーで大正村を走ろう」会(梅村行夫会長)が、春の交通安全運動に合わせ、町内の交通安全祈願の一貫として平成7年から行っており、今年で12回目。パレードは約1 <sup>‡</sup>。行われ、沿道に多くのギャラリーが集まる中、交通安全を呼び掛けて走りました。



中馬街道を交通安全呼び掛けて走るクラシックカー

## 鴨長明の生涯を学ぶ



鴨長明の生涯などについての説明を聞く皆さん

4月3日、随筆『方丈記』の作者で岩村町で最期 を迎えたと伝えられる鴨長明(1153-1216)の勉強 会が、岩村公民館で開かれ、約60人が参加しました。

勉強会は、岩村町で地域の歴史を研究する城下町ホットいわむら・歴史掘りおこし委員会(西尾精二代表)が開催。恵峰ホームニュースの朝日美智子編集長を講師に長明の生涯について学んだほか、長明が食べたという薬草料理の試食、明知鉄道岩村駅前にある長明塚について学びました。

## ケーブルテレビが開局



開局の火入れ式

4月から放送を開始したケーブルテレビ (CATV) の開局記念式典が4月6日に開催され、関係者約100人が出席しました。CATVは、㈱アミックスコムが運営しており、平成21年春までに市内全域で光ケーブルによる地上デジタル放送や、市内の情報を提供するコミュニティ番組などの視聴が可能となります。式典で同社の取締役でもある可知市長は「CATVには無限の可能性がある。医療や福祉など多方面で活用したい」とあいさつを述べました。

## 区域を越えた消防活動

恵那消防署蛭川分署の中津川市への事務引き継ぎ式と、区域外の消防活動を補い合う応援協定の調印が3月31日、蛭川分署で行われました。この引き継ぎにより蛭川分署は、4月1日から中津川市の管轄となり「中津川市西消防署蛭川分署」に変わりました。また応援協定では、蛭川分署が笠置町毛呂窪地区を、岩村消防署が中津川市阿木地区を応援することとなります。出席した可知市長、大山中津川市長は、両市の安全を願い調印をしました。



協定の握手を交わす大山中津川市長国と可知市長国

# 梅露庵公園に狐の行列

新古今集などの歌人として知られる西行法師が、庵を結んだと伝えられる長島町の梅露庵跡で、4月1日、梅露庵公園まつりが開催され、多くの人でにぎわいました。今回初めて、桜咲く春雨の季節を描く歌川広重の版画「王子道狐のよめ入」にちなみ、地域の皆さんが狐の面に和服姿で行列し、注目を集めました。会場では、俳句・短歌の募集や五平もち、綿菓子などのバザーが開催され、訪れた皆さんは、春の穏やかなひと時を楽しみました。



狐の面をつけ、梅と桜が咲く梅露庵公園を歩く皆さん

## ゲンジボタルの飛び交う川に



ビオトープで放した幼虫とカワニナを見守る児童たち

長島町まちづくり委員会の環境部会では、昨年7月に町内で捕獲した親ボタル30匹を、長島小学校校舎裏に設けたホタル小屋の水槽で育成し、約10,000個の卵がかえりました。3月25日には、数学に成長した幼虫3,200匹を町内6カ所の主要河川に放流しました。放流個所の一つである同小学校林「羽白の森公園」ビオトープでは、町内の住民や児童など約30人が参加し、餌であるカワニナとともに夏に飛び交うホタルの光景を願い小川へ放しました。

## 病院の環境向上に感謝



感謝状を受けた皆さんと浅野雅嘉病院長便

3月30日、市立恵那病院で絵画の展示などボランティア活動で、院内の良い雰囲気づくりに協力している皆さんに同病院から感謝状が贈呈されました。

感謝状は、手品などを披露する「恵那げんきーず」の代表で、絵画の展示も手掛ける鈴木徹さん、絵手紙を展示する広田百々代さん、短歌を短冊で紹介する牧野守さん(いずれも大井町)、病院玄関の花壇の植栽をする恵那農業高校を代表して丹羽健さん(園芸デザイン科2年)の3人と2団体に贈られました。

## **>>>**

中山道広重美術館 企画展覧会

会期 4/12(木) ~ 7/16(月) 第2期

5/22日(火)~6/17(日) 東海道五十三次之内(行書版)

毎週月曜日(祝日を除く) 祝日の翌日(土日・祝日を 除く冰館。

6/18(月)~20(水)までと、会 期終了後の7/17(火)~19日(木) まで展示替え休館します。

### 『三つの東海道 保永堂版・行書版・竪絵東海道



歌川広重 「東海道五拾三次之内 金谷 大井川遠岸」

間判錦絵揃物の内 天保12~13年(1841~42年)ころ

5月22日から第2期を迎える企画展「三つの東海道 保永堂版・行書版・竪絵東海 道 」では、第1期の「東海道五拾三次之内(保永堂版)」に代わって「東海道五十三 次之内(行書版)」を展示します。行書版とは、タイトルが行書で書かれているため付 けられた通称です。また行書版の判型を間判(約23ỷ×約35掌)と呼び、保永堂版の 大判(約27ξ<sup>2</sup> × 約39ξ<sup>2</sup>)より一回り小さなものです。

上の図版は歌川広重「東海道五十三次之内 金谷 大井川遠岸」。東海道の難所の一 つ、「越すに越されぬ大井川」と唄われた大井川の川越え風景を描いています。第1期 にご覧いただいた保永堂版の「顚津」に登場したと思われる相撲取りが、体重のため か普段より大勢の人足が担ぐ輦台で渡っています。

# NHKでおなじみの楽しい仲間が 恵那に来る

とき 6月30日(土)

【1回目公演】午後1時~1時45分(午後0時半開場) 【2回目公演】午後3時半~4時15分(午後3時開場)

ところ 恵那文化センター

主催 恵那市、㈱アミックスコム、NHK岐阜放送局 出演「ぐ~チョコランタン」の仲間たち、うたのおね えさん 主に3~6歳を対象にした約45分のステージ ショーです。番組出演中のおねえさんは出演しません。 また番組収録は行いません。

入場料 無料(全席指定)

を記した入場整理券を返送します。当選者は1人1通に 午前9時~午後7時) 限ります。満1歳以上から入場整理券が必要です。座席

申し込み記入例

往信 5 0 0 8 5 5 4 表面	返信裏面
(住所不要)	(何も書かないでください)
NHK岐阜放送局	
「ぐ~チョコランタン小劇場」係	
	表面 (住所不要) NHK岐阜放送局

の指定は主催者に一任していただきます。

申し込み方法 5月28日(月)(必着)までに返信先明記 の郵便往復はがきに、保護者の 郵便番号 住所 電話番号 希望の公演(第1回か第2回のど ちらか) 観覧希望人数(保護者を含めて4人まで)を 記入してNHK岐阜放送局「ぐ~チョコランタン小劇場」 係(〒500-8554住所不要)へお申し込みください。(申し 込みは郵便往復はがきに限ります)

郵便往復はがき以外での申し込みや記入漏れは無効

問い合わせ (㈱アミックスコムIII20-3252 (平日午前10 その他 応募多数の場合は抽選。当選者には座席番号 時~午後6時) NHK岐阜放送局回058-264-4611(平日

> 保護者の 郵便番号 保護者の 名前 雷話番号 希望の公演 第1回か第2回のどちらか) 観覧希望人数

応募時にいただい た情報は抽選結果の ご連絡に使用します。 なおNHKでは受信 料のお願いに使用す る場合があります。

## 飯高さんで絵付け楽しむ

4月20日、山岡町の飯高観音本堂で、同町馬場山 田地区のお年寄りで構成する「ほのぼの会」(悲佐田 明俊会長)が開かれ、会員約50人が参加しました。 同会では、年に10回ほど講話や健康体操などの交流 事業が行われており、今回は山岡陶業文化センター 講師の指導のもと、1人1枚ずつ配られた皿に花の 絵などを描く「絵付け」を楽しみました。参加者は 「上手に描けたね」と、描き上げた絵皿を見比べなが ら焼き上がりを楽しみにしていました。



見本を参考に花や木などを楽しそうに描く参加者

#### 渡辺学校長へ旧両校の同窓会長から校旗の贈呈

恵那南高等学校が開校

TX 干燥 亚惠那南高等学校開校式

4月8日、明智かえでホールで恵那南高等学校開 校式が開催され、旧岩高・明智商の在校生と教師、 地元の教育関係者約350人が出席しました。式典で は、校旗や学校の紹介が行われた後、渡辺守夫学校 長から「旧高校の伝統と歴史を忘れず、気持ちを新 たに学習や部活動に励んでほしい。ことあいさつがあ り、旧両校の生徒会長は「この学校を応援してくだ さるすべての方々と共に、南の開拓者として新しい 伝統を築きます」と誓いの言葉を述べました。

## リサイクル品を希望者に

エコセンター恵那では、不用品として出された家 具や自転車などで、まだ使用が可能な品を無料で希 望者に渡しました。これらは、本紙3月1日号や市 ホームページで希望者を公募したところ、29点に対 し68件の応募があり、2件以上応募のあった品は4 月21日に抽選会が開かれました。たんすが当選した 木村賢吾さん(大井町)は、「環境問題を考え、この ような機会はもっと頻繁に開いてほしい。古くても いい物はたくさんある」と感想を述べられました。



抽選会の様子(エコセンター恵那)

## 地元飯地町で20曲を熱唱



ギターとヴォーカル担当の纐纈悠輔さん例

飯地町まちづくり委員会では4月15日、歌舞伎小 屋「五毛座」で飯地町出身の纐纈悠輔さんが加入し、 東京を中心に活躍するバンド「オトループ」を招き コンサートを開催しました。このコンサートは、町 の活性化振興策として、地域の若者が元気になるよ う、また地域の魅力を発信するために企画され、『地 域を元気に』の趣旨に賛同したメンバーらによって 実現。高校生から20代を中心とした町内外の観客 を、生演奏の迫力と歌声で魅了しました。